

2024年度第1回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ すみれステークス（L）

すみれは、スミレ属の多年草。春に花柄を出し、濃紫色の花を横向きに咲かせる。名は、花の形が墨入れに似ていることに由来する。阪神競馬場がある兵庫県宝塚市の市花としても有名。花言葉は「誠実」「謙虚」「小さな幸せ」。

○ 伊丹ステークス

伊丹（いたみ）は、兵庫県南東部の市。古くは伊丹氏の城下町として発展し、江戸時代に入ると酒造で全国的に知られるようになった。現在は大阪・神戸のベッドタウンとして位置づけられる。また、同市および大阪府豊中市・池田市にまたがる大阪国際空港は、伊丹空港とも呼ばれ、世界の空港の定時運航遵守率ランキングで1位を獲得したことがある。

○ 仁川ステークス（L）

仁川（にがわ）は、六甲山系に源を発し、武庫川に注ぐ川。また、阪急電鉄今津線の駅名にもなっており、阪神競馬場の最寄り駅である。

<第2日>

○ 松籟ステークス

松籟（しょうらい）は、松の梢に吹く風の音のこと。松風、松韻とも言う。松は、古くから神が宿り、節操や長寿を象徴する神聖な木として尊ばれている。

○ マーガレットステークス（L）

マーガレット（Marguerite）は、カナリア諸島原産のキク科の多年草。晩春から夏にかけて、一般に中央が黄色で周囲が白色の花をつける。花言葉は「心に秘めた恋」「貞節」。

○ 阪急杯（GⅢ）

本競走は、1957年に創設された『宝塚杯』を前身とする重賞競走。創設当初は、2200mで実施されていたが、1960年に距離が1800mに短縮され、その際に現在の競走名に改称された。以降、幾度かの距離変更を経て2006年より1400mで実施されている。なお、第1着馬には同年の『高松宮記念』への優先出走権が与えられる。

阪急電鉄株式会社は、大阪市北区に本社を置く鉄道会社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ 千里山特別

千里山（せんりやま）は、大阪府吹田市中西部の地域名。大正時代、日本初の田園都市として千里山住宅地が造成され発展した。関西大学千里山キャンパスがあることでも知られ、学生街としての性格も併せ持つ。

○ なにわステークス

なにわは、大阪市付近の古称。仁徳天皇の難波高津宮（なにわのたかつのみや）や孝徳天皇の難波長柄豊碓宮（なにわのながらのとよさきのみや）など、皇居が造営された地として知られる。

また、浪速（なにわ）は、大阪市中部の区名。繁華街「新世界」にある通天閣は、大阪のシンボルとして有名。

○ チューリップ賞（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、1994年にオープン競走より格上げされた重賞競走。2018年からGⅡ競走に格付けされている。『桜花賞』と同じ舞台で実施されることから、同競走を目指す3歳牝馬にとって重要な競走となっている。なお、第3着までの馬には『桜花賞』への優先出走権が与えられる。

チューリップ（Tulip）は、ユリ科の球根植物。園芸植物としての人気が高く、品種改良によってさまざまな色や形が存在する。茎が出て幅広い葉が数枚つき、4～5月頃に大きい花を1輪咲かせる。花言葉は「思いやり」「博愛」。

<第4日>

○ アルメリア賞

アルメリア（Armeria）は、イソマツ科の多年草。花壇や鉢植えなどで栽培する。花の色は桃・白・赤などで、3～4月に小球状の花をつける。名は、ケルト語で「海に近い」という意味で、和名で呼ばれるハマカンザシとともに海浜性植物であることを表している。花言葉は「思いやり」「心づかい」。

○ 戎橋ステークス

戎橋（えびすばし）は、大阪市中中部、道頓堀川にかかる橋のひとつ。今宮戎神社への参道にあたり、江戸時代に町人たちによってつくられた町橋として有名。

○ 大阪城ステークス（L）

大阪城（おおさかじょう）は、大阪府大阪市中央区にある城。豊臣秀吉が1583年から3年をかけて築いたとされる。1615年の大坂夏の陣で落城し焼失したが、その後再建され、幕府の直轄地となり城代が置かれた。以後も数度の火災に見舞われたが、1931年に現在の天守閣が再建された。周辺は大阪城公園として整備され、大阪城ホールや梅林などがある。

<第5日>

○ 阪神スプリングジャンプ（J・GⅡ）

本競走は、1999年に創設された障害重賞競走。創設時は3800mで実施されたが、翌年より3900mに距離が延伸された。

スプリング（Spring）は、「春」を意味する英語。

○ ゆきやなぎ賞

ゆきやなぎは、バラ科の落葉低木。「雪柳」とも書く。春になると白色五弁の小花が枝上に並んで咲き、枝に雪が積もったように見える。花言葉は「愛嬌」「殊勝」。

○ 難波ステークス

難波（なんば）は、大阪府大阪市中央区から浪速区にまたがる地名。なんば駅を中心とする一帯のこと。道頓堀、千日前などととも「ミナミ」と称される繁華街をなす。

なお、ミナミの中心施設のひとつでもある「なんばパークス」内には、JRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ難波がある。

○ コーラルステークス（L）

コーラル（Coral）は、「サンゴ」を意味する英語。サンゴは、サンゴ科サンゴ属の刺胞動物の総称。また、その骨軸。サンゴの中でも深海に生息する硬質のものは古くから宝石として珍重され、日本では3月の誕生石としても知られている。

<第6日>

○ 天神橋特別

天神橋（てんじんばし）は、大阪府大阪市にある橋および町名。名は、市民から「天満の天神さん」と呼ばれる大阪天満宮が管理していたことに由来する。難波橋、天満橋とともに浪華三大橋と称され、付近には日本一長い商店街として知られる天神橋筋商店街がある。

○ オークランドサラブレッドレーシングトロフィー

本競走は、競馬を通じて日本とニュージーランドの親善を図ることを目的として1992年に創設された競走。

オークランドサラブレッドレーシングは、1874年に設立されたニュージーランド最大の競馬主催団体であるオークランドレーシングクラブを前身とし、2021年7月にカウンティーズレーシングクラブとの合併により現在の名称となった。オークランドにあるエラズリー競馬場では、3歳馬における同国最高峰の競走である『ニュージーランドダービー』が行われる他、交換競走の『JRA トロフィー』も行われている。

○ 報知杯フィリーズレビュー（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、1967年に『阪神4歳牝馬特別（報知杯桜花賞トライアル）』の名称で創設された重賞競走。競走名は2度の改称を経て、2001年より馬齢表記の変更に伴い現在の名称になった。なお、第3着までの馬には『桜花賞』への優先出走権が与えられる。

スポーツ報知は、報知新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 淡路特別

淡路（あわじ）は、旧国名のひとつ。現在の兵庫県淡路島を指す。淡路島は、瀬戸内海最大の島。明石海峡大橋で本州と、大鳴門橋で四国とそれぞれ連絡している。『古事記』『日本書紀』によると、日本で最初にできた島とされており、島内には国生み神話に縁のある場所が数多く存在する。

○ 淀屋橋ステークス

淀屋橋（よどやばし）は、大阪市の土佐堀川に架かる橋。名は、江戸時代の豪商「淀屋」に由来する。中之島と船場を結び、御堂筋の一部となっており、国の重要文化財にも指定されている。周辺には企業や大阪市の関係機関のビルが立ち並び、大阪を代表するオフィス街となっている。

○ 若葉ステークス（L）（皐月賞トライアル）

若葉（わかば）は、芽を出して間もない葉のこと。特に、初夏の木々のみずみずしい葉を言う。なお、第2着までの馬には『皐月賞』への優先出走権が与えられる。

<第8日>

○ 山陽特別

山陽（さんよう）は、山陽地方、または山陽道の略。山陽地方は、本州の瀬戸内海側に位置する地方。瀬戸内海に面し、瀬戸内海式気候が見られる。山陽道は、古代に定められた五畿七道のひとつ。また、山陽自動車道の略称。

○ ウインズ高松開設 30 周年記念鳴門ステークス

本競走は、ウインズ高松開設 30 周年を記念して実施される。

鳴門（なると）は、徳島県北東部の市。かつては製塩業で発展し、現在は製薬業・養殖業・農業が盛ん。同市の東部に位置する鳴門海峡は、内海側の播磨灘と外洋側の紀伊水道との干満による海面差が大きいため、潮の流れが速くなり、渦潮が生じることで知られている。

○ 阪神大賞典（GⅡ）

本競走は、1953年に創設された重賞競走。当初は2000mのハンデキャップ戦で実施されていた。1956年に負担重量が別定に変更され、その後2度にわたる距離の延伸を経て、1974年から現在の3000mとなった。また、1987年より実施時期が大幅に繰り上げられ、12月初旬から現在の実施時期となった。なお、第1着馬には同年の『天皇賞（春）』への優先出走権が与えられる。